

江別の夏を彩る「れんがドミノ」

7月11日(土)、12日(日)の両日、「第26回えべつやきもの市」が開催され、プロ・アマあわせて300店以上が出店。2日間で市内外からおよそ4万5,000人が会場を訪れました。

11日には、毎年恒例の「れんがドミノ」が行われ、今年の西暦と同数の2,015個並べられたれんがは、風鈴にも似た涼しげな音をたてて倒れ、見物客を魅了しました。

目次

- 8 防災情報提供サービスが始まります
- 9 自然を楽しむ夏のおすすめイベント
- 10 野幌駅南側の整備
- 11 野幌小児童募集
- 13 やすらぎ苑へのお墓参り

戦後70年
つなぐ
戦争の記憶…
p.2



「言いたいことが言える時代に」「すべての人に平和な暮らしを」。
ささやかな思いが積み重なり、今日の平和へとつながっています。
今年8月15日で戦後70年。戦争体験者が少なくなる中、私たちは戦争
の歴史や悲惨さを知り、未来へ語りついでいかなければなりません。

(企画・取材 企画政策部広報聴課)

生死を分けた5メートル

江別を襲ったロケット弾

7月15日、江別空襲

「ドン」おしりのあたりに
棒で殴られたような鋭い痛
み。手をやると弾で穴が空い
ていた。

昭和20年7月15日、江別町
(現江別市)の王子航空機(株)江
別製作所で働いていた尾形俊
雄さん(当時18歳)は突然襲つ
てきた米軍機グラマンの攻撃
で、重傷を負いました。江別
空襲の負傷者の一人です。

「まさか江別まで襲われるな
んて」尾形さんは、軍の命令で
製紙工場から航空機工場へ転換
させられた王子航空機(株)江別
製作所の部品管理課に配属さ

れていました。入社して1年、
軍事施設として敵に場所が把
握されているとは思ってもよらな
かったといえます。

昭和16年から始まった太平洋
戦争の戦局が深刻化する中、昭
和19年から米軍は日本本土への
空襲を本格化。北海道も昭和20
年7月14日、15日の2日間で各
地が襲われ、2900人以上の
犠牲者が出ています。江別では
軍需産業だった「王子航空機(株)
江別製作所」、重要産業の「日本
発送電(株)江別火力発電所」が狙
われ、4人が亡くなり、8人が
負傷したと言われています*。
その日、日曜日にも関わら
ず出勤していた尾形さんは、



尾形 俊雄 さん (88歳)

戦時中、王子航空機(株)江別製作
所の部品管理課に配属され勤務。
現在は詩人として活躍している。
苫小牧市在住。

戦後70年特集
つなぐ
戦争の記憶



狙われた江別／左の斜めに白く見える部分が旧飛行場の滑走路
(写真は昭和30年代のもの)



江別空襲で投下された米軍の弾の一部、江別警察署前（現コミュニティセンター付近）



昭和19年頃から防空壕は町内くまなく作られた

午前中に警戒警報が鳴ったため、防空壕に避難。何事もなく職場に戻ってから数時間後、突然けたたましい音がし、ロケット弾が天井を突き破り落ちてきました。目の前の課長が視界から消え、尾形さんは机の下に潜り込みましたが、すごい痛みを感じて倒れ込みます。「やられたー」機銃掃射が始まり、床に銃弾の跡がびっしりとつづのが見えました。

「課長は頭に弾が直撃して即死だったのかも…生死を分けたのは5メートルほどのわずかな差でした。」
犠牲者は住民
江別空襲の犠牲者はいずれも銃後を守る住民。「戦争では軍人も一般住民も関係ないのでしよう」尾形さんの肉親や身近な人も戦争で犠牲になりました。自分が受けた傷も、傷跡が残り、今も痛みます。「滅茶苦茶で大変な時代。毎日を生きることに必死でした。」

間近で目撃

成田朗彦さん(80歳)は、

江別空襲で火力発電所をめぐって機銃掃



成田朗彦さん(80歳)
江別市在住

射を行う米軍機を間近で目撃しました。
当時10歳、千歳川鉄橋近くの河原で遊んでいると爆音とともに、空に黒い塊が見え、ずんずんと大きくなりました。直後「ダダダダダ」と射撃音が聞こえ、発電所の屋根と壁が剥がれ飛びました。「必死になって土手に伏せ、体を固めると、弾が鉄橋にあたり、川の中に弾が突き刺さりました」助かったと喜びましたが、恐怖は現在も残るといいます。「パイロット

● B29・グラマン・隼の比較

(上から B29、グラマン F6F、第54戦隊隼)



出典：『語り継ぐ札幌市民100人の戦争体験(上) (札幌市2013)』

の高い鼻、長い頸が見えるくらい近くで見ました。今でも飛行機が通るたびに恐ろしく、嫌な気持ちになります。」
※江別空襲の犠牲者・負傷者数はいずれも『新江別市史(江別市2005)』を参考にしています。『北海道空襲犠牲者名簿(山本竜也2011)』では、江別空襲の死者は5人とされています(江別空襲の負傷者は10人、13人など諸説あり)。

昭和20年7月15日 江別空襲の被災状況

攻撃	時刻	空襲の状況および被災状況
第1波	午前5時30分頃	グラマン F5,F6" ヘルキャット "7機来襲。2番通り野幌方面から飛行場の滑走路にかけて機銃掃射。
第2波	午前6時50分頃	グラマン同型機3機来襲。野幌、厚別間を運転中の函館行き上り列車(408列車)めがけ反復機銃掃射。列車は旧三愛女子高校(現野幌若葉町)の辺りで停車。4人の重軽傷者を出す。
第3波	午後3時頃	グラマン同型機4機、石狩方面より来襲。王子航空機製作所にロケット弾4発投下。同社員1人死亡、4人が重軽傷を負う。また付近の長屋住民1人が流れ弾に被弾して死亡。また、日本発送電(株)江別発電所にも数発のロケット弾が発射され、流れ弾が対雁墓地内の無常堂に落下、2人死亡。

(参考『えべつ昭和史(江別市1995)』)

戦時中、女性やお年寄り、子どもたちは「銃後を守る」ために、苦しい生活を強いられました。贅沢は許されず、空腹に耐えながら、毎日を懸命に生きていました。

銃後の生活

人手不足、物もない

江別駅から戦地に向かった出征兵士たちを見送ったのは、役場関係者、在郷軍人、町内会の人々とともに、国防婦人会や愛国婦人会に属する女性たちでした。彼女たちは

出征、帰還の送迎、慰問袋（日用品などが入った袋）の作成、防空演習の参加などで兵士たちを支えました。「銃後のことは心配せず、心おきなくお国のために奮闘するよう」呼びかけたのです。

しかし、銃後の生活は厳し



上／出征の見送り、江別駅前
下／愛国婦人会の皆さん

いものでした。働き手が奪われた農村などでは、生産力が低下。食糧が不足すると、配給制が敷かれましたが、量は十分とは言えず、みな腹を空かせ耐えていたといえます。衣料も切符制となり、物不足が深刻化していきます。

現在の一番町に住んでいた八重崎道子さん（75歳）は当時の状況を語ります。「買っていくっても物がありません。昔はあったお菓子のことを兄に聞いてうらやましく思いました。とてもひもじかった」。武器不足を補うため、一般家庭から金属類などはすべて国に差し出すことが強要さ



金属回収の様子。金属のほか、火薬に使われる古綿も集められました。



八重崎 道子さん（75歳）
江別空襲では現在の一番町にあった自宅屋根スレスレに飛ぶ、米軍機を目撃しました。江別市在住。

れ、お寺の鐘や橋の欄干さえ金属は一つもありませんでした。「母は、たった一つの金の指輪を差し出した後、母親の形見が無くなったと小さい声でいつまでも言っていました。戦争は子どもも大人も関係なくすべての人を苦しめます」。

産めよ増やせよ

労働力の不足、食糧の統制などによって、全てのものが不足する中、赤ちゃんだけは増

えていきました。日中戦争以降、出生数が見えて減ったことに危機感を抱いた国は、国策として「多産報国」を打ち出します。江別も例外でなく、戦争の深刻化、出征兵士の増大にも関わらず、結婚と出生数は増加傾向でした。

満足に食べるものもなく、金属類から古綿まで供出を強いられ、あげくにお国のために毎年のようにお腹を痛めて子どもを産む、それが典型的な銃後の生活でした。



江別町役場（現6条8丁目）の防空演習。高齢の男性と10代の女性がバケツリレーで火消しの練習をしています。八重崎さんのお姉さんも参加（八重崎道子さん蔵）。

不足するアルミニウムの代わりに木で作られた木製戦闘機キ106。
木製戦闘機を作らなければならない「悲しい時代」がありました。

木製戦闘機キ106



「木製戦闘機キ106」
モデルは陸軍の主力戦闘機、四式戦闘機「疾風」。キ106の飛行速度は時速580kmで、スピードは零戦や隼を上回りました。

まちをあげた大事業

昭和20年6月11日、2千人の関係者が見守る中、一機の戦闘機が江別の大空に空高く舞いました。軍は、不足する金属の代わりに王子製紙(株)江別工場へ木製戦闘機の製造を命令。江別で木製戦闘機キ106が作られることになりました。

江別は王子製紙(株)を中心に製紙の街として発展してきたまち。航空機工場への転換は大きな意味がありました。

労働力不足を補うため、14歳〜25歳の未婚の女性からなる女



4番通り6丁目付近から北北西に伸びていた旧飛行場。昭和50年代の宅地造成まで姿をとどめ、現在は誘導路跡だけが残っています。

子挺身隊が編成され、全道各地から集められたほか、大規模に採用された工員の多くは14歳ほどの幼年工で、全道各地から約千人、現在の江別小、第三小の高等科卒業生110名も含まれていました。従業員は4600

人へのぼつたといい、当時の江別の人口は2万6000人ほどですから、その事業規模の大きさがうかがえます。

言いたいことが言えない

当時13歳、学徒動員で働いた佐藤明さん(木製戦闘機キ106を語る会会長・83歳・江別市在住)は「配属されたことが嬉しく、何の疑問もなく働きました」と当時を振り返ります。飛行機の名前や作った部品が何かも知らされませんでした。「二号機が飛んだときは感動して涙が出ました。一生忘れられません」。

しかし、およそ1か月後、北

海道空襲で喜びも吹き飛びます。「自宅近くを飛んでいく大きな敵機を見て、震え上がりました。心の中で木製戦闘機では敵わないと思いました」。



大麻高校演劇部部員にキ106と学徒動員の体験を説明する佐藤さん(平成27年5月14日)

使われなかったキ106

木製戦闘機は終戦までに江別で3機が完成。いずれも実戦には使われることがないまま、終戦を迎えます。戦後は日本国内で作られた10機のうち2機がアメリカに移送され、そのほかはすぐに解体。関係書類はことごとく廃棄されました。「内心は解体されてよかったと思っています。撃ち落とされたと聞かされるよりもずっと。日本は資源のない国ですから、戦争になるとどんなに国民生活に影響するか」と佐藤さんは今でも、その胸の内を明かします。

『幻の木製戦闘機キ106』(2008年)の著者田中和夫さん(82歳・札幌市在住)に

よると、戦争が長引けば、キ106はいずれ特攻機になる運命にあったといえます。「離陸すると主脚が外れる戦闘機の図面(キ115「剣」と考えられる)があったようです。そこで追いつめられていました」。

幻と言われた木製戦闘機的全貌は、関係者の証言で早苗別川河畔で平成6年に発見された金属ケースに入った約5000枚の文書などからわかってきました(早苗別川文書)。現在、キ106の資料や外板、車輪などが江別市郷土資料館で展示されています。

【郷土資料館前期ロビー展】

「木製戦闘機が作られた時代」

7月18日(土)〜9月27日(日) 9時〜17時。無料。詳細/郷土資料館 ☎385・6466

「言いたいことを
言える国にしよう」

私たちは戦争を知らない世代
同時に語り継いでいく世代でもある

つなぐ

大麻高校演劇部が
木製戦闘機をテーマに劇

今年6月14日、江別市コミュニティセンターで大麻高校演劇部が木製戦闘機をテーマに演劇「青藍の空高く」を上演しました。札幌開催の高校演劇支部大会で観劇した佐藤明さんが「江別の人にも見てほしい」と同部に依頼。江別公演が実現しました。

舞台は現代。高校生の主人公が祖母の残したノートから木製戦闘機に従事した人々の姿を演じる「劇中劇」で、女子挺身隊の姿を中心に、木製戦闘機の初飛行、戦地に赴く兵士の江別駅からの見送り、江別空襲などが語られ、また、



公演後、女子挺身隊として従事していた方と交流し、涙する生徒

現代の高校生が戦争の歴史と向き合う姿が描かれています。劇中では当時の人々が戦争への不信を抱きつつも「言いたいことが言えなかった」重苦しい雰囲気と現代の日常生活で「思っただけでもなんとなく言えない」歯がゆさが重なります。最後に木製戦闘機的设计士が「これからは言いたいことを言える国にしよう」と訴えました。

高校生へ受け継がれる思い

生徒たちは当時の状況を勉強し、実際に飛行場のあった場所を訪れたり、佐藤明さんの話を聞いたりして、演劇に取り組んできました。

公演後の挨拶で、上野風香

部長が「この劇に関わるまで、木製戦闘機のこと、戦時中の江別のことを何も知らなかった。今好きな演劇を続けていくのは過酷な時代を生き抜いてきた人がいたから。過去にあつたことを忘れず、平和について考えていきたい」と来場者に挨拶。会場は鳴りやまない拍手と涙に包まれました。

公演後、女子挺身隊として従事した方と交流し、抱き合い涙する生徒も。真剣に向きあう等身大の高校生の姿に多くの人が感動し、心を動かされました。

江別から世界へ

「平和と民主主義」をテーマに弁論で数々の賞を受賞してきた立命館慶祥高校弁論研究部。

昨年、全国高等学校弁論大会で第3位となった葛西小鈴さんは紛争解決請負人として活躍する方の話と自分の経験をもとに、現代の社会問題に対する若者の役割などについて論じました。「卒業後も平和に



葛西小鈴さん
(立命館慶祥高校3年18歳)

未来へつなぐ平和

ついで自分の言葉で伝えていきたい」と葛西さん。自分の意見を言える場を自分自身で作っていききたいと意欲的です。

「弁論したことは有言実行することが部の決まり」と顧問の江口準教諭が話す通り、1999年の創部から「平和

と民主主義」の考えを培った弁論研究部の卒業生が江別の地から羽ばたき、世界で活躍しています。

平成26年10月26日、市制60周年記念式典で、江別市は「平和都市宣言」を披露し、恒久平和を誓う象徴として建てた

過去から未来へ、平和への思いをつないでいく必要があるのです。

平和の碑の除幕式を行いました。宣言文は先人の歴史や文化を引き継ぎ、一人ひとりが確かな意思を持つて平和な社会を作るため、意志を持つて行動する誓いで締めくくられています。

終戦から70年。私たちには、

江別市平和都市宣言文

この世に生命（いのち）を与えられたすべての人々は、平和で安心した暮らしを願っています。

しかし、世界の各地では争いが絶えず、また、大量の核兵器が世界の平和と人類の生存に大きな脅威を与えています。

わたしたちは、世界唯一の被爆国として、広島・長崎の惨禍を繰り返さないように、核兵器廃絶を強く訴え、戦争のない平和な世界の実現を求めます。



折り鶴を作る児童
(第二小学校)

今年7月22日、戦争で亡くなった方を追悼し、恒久平和を祈念する「江別市平和のつどい」が開催されました。つどいでは広島島の平和記念公園にある少女の像に捧げるため、市内各小学校で折られた千羽鶴が市長に伝達されました。

そのために、世界中の国、地域、人々の交流の輪を広げ、互いの個性や違いを理解し尊重し合うことが必要です。

わたしたち江別市民は、豊かな自然と先人が築いた歴史や文化を引き継ぎ、平和な社会をつくるため、家庭や地域において一人ひとりが確かな意思を持つて行動していくことを誓い、ここに江別市が「平和都市」であることを宣言します。

平成26年8月15日

江別市長 三好 昇



「戦争の記憶」にご応募いただきありがとうございます

広報5月号で募集した「戦争の記憶」には、13名の方からご連絡をいただき、戦時下のまじりの様子や辛い体験、平和への思いなどさまざまなお話を文書とインタビューを通じて、お聞かせいただきました。紙面の都合上、全てを掲載することはできませんでしたが、編集の際に大変参考にさせていただきました。

生徒動員で働いた体験、樺太での戦争体験、パラオから船で命からがら引き揚げてきた体験、東京空襲、広島島の原爆の体験、海軍飛行予科練習生の体験など、どれも胸を締め付けられる辛く苦しい体験談でした。遺族が亡くなられた方もいらっしやって、「戦死した父親の遺骨と言われ、渡された箱には木片しか入っていません」というお話も



写真はお父さんの遺骨と言われ渡された木片（山本實さん蔵、江別市在住）

取材や資料提供にご協力いただきました皆さん、読んでくれた皆さん、ありがとうございます。ご期待の企画政策部広報広聴課8月号特集担当（保坂）

広報誌の感想をお寄せください
広報広聴課 〒067-8674 高砂町6
☎ 381-1009、FAX 381-1149
Email=koucho@city.ebetsu.lg.jp

主な参考文献

- 『えべつ昭和史』江別市 1995年
- 『新江別市史』江別市 2005年
- 『幻の木製戦闘機キ106』田中和夫 2008年
- 『江別の歴史』江別の歴史を語る会 1984年
- 『語りつぐ北海道空襲』菊地慶一 2007年
- 『北海道空襲犠牲者名簿』山本竜也 2011年
- 『語り継ぐ札幌市民100人の戦争体験(上)』札幌市 2013年

防災情報提供サービス

配信情報

- ・気象情報（警報、特別警報など）
 - ・地震情報（震度3以上）
 - ・避難情報（避難勧告など）
- その他、断水情報や国民保護情報、緊急のお知らせなど

受信先の登録方法

▶受信先を携帯電話、パソコンなどのメールにする場合

① bousai.ebetsu-city@raidan.ktaiwork.jp宛てに空メール（件名・本文不要）を送信してください。右のQRコードからメールアドレスを読み込むことも出来ます。



※ ebetsu-city@raidan.ktaiwork.jpからの返信を受信できるよう、電子メールの設定をお願いします。
②仮登録通知のメールが届きますので、指示に従い、登録手続きを行ってください。

▶受信先を電話やファクスにする場合

申込書に記入してファクスまたは郵送にて危機対策室（FAX 381-1070）まで提出してください。申込書は市役所案内窓口または、市ホームページから様式をダウンロードして入手できます。

防災情報テレフォンサービス

☎ 050-5533-8204

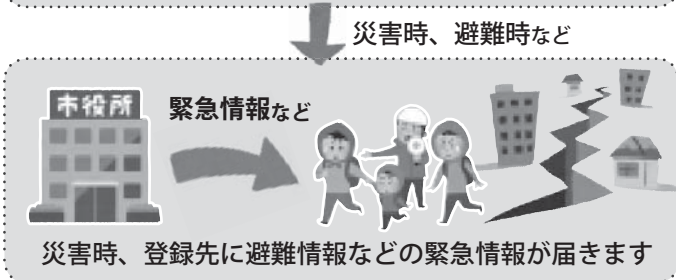
防災情報を自動音声で確認 24時間安心!

9月1日(火)から始まります

【詳細】危機対策室 ☎ 381-1407



市では、9月1日(火)から防災情報の提供サービスを開始します。このサービスは登録いただいた市民の皆さんに、携帯電話やパソコンへのメール配信のほか、電話やファクスへ防災情報を発信するものです。また、指定の番号に電話をすることで、自動音声により防災情報を確認出来るテレフォンサービスや、フェイスブック、ツイッターなどのSNSを活用した情報発信も行います。ご家庭での防災対策として、信頼できる情報源から正しい情報を収集し、日々、災害に備えましょう。



福祉避難所一覧

地区	施設名称	所在地
江別	いきいきセンター わかくさ	若草町 6-1
	指定介護老人福祉施設 夢あかり	ゆめみ野東町 1-5
	障がい者支援施設 えべつ明友荘	江別太 562-21
	特別養護老人ホーム 誠志苑	江別太 222-10
野幌	介護老人保健施設 友愛ナーシングホーム	新栄台 46-12
	指定介護老人福祉施設 静苑ホーム	新栄台 46-10
	介護老人保健施設 老健のつぼろ	東野幌 396-32
	障がい者施設 えべつデイサポートニルシ	東野幌 399-32
	障がい者施設 江別緑志苑	東野幌 624
大麻	障がい者施設 ハビタットのつぼろ	東野幌 399-32
	いきいきセンター さわまち	大麻沢町 5-6
	介護老人保健施設 葵の園・江別	大麻南樹町 1-1
	介護老人保健施設 はるにれ	大麻北町 607-2
	特別養護老人ホーム ひだまり大麻	大麻北町 608

福祉避難所を確保

市では災害発生時に高齢者や障がいのある方、介護が必要な方など、要配慮者を受け入れる福祉避難所を確保するため、市内福祉関係事業者10法人14施設と福祉避難所（詳細は左一覧表）の設置運営に関する協定を締結しました。

●福祉避難所ってなに？

福祉避難所は、災害による避難所生活が長期化する恐れがある時、必要に応じて開設する2次の避難所です。受け入れスペースや人員の体制が

整い次第開設するもので、直接福祉避難所に避難することはできません。

●避難所の変更

福祉避難所のうち「いきいきセンターわかくさ」（若草町6-1）と「いきいきセンターさわまち」（大麻沢町5-6）は、これまでは一般市民を受け入れる避難所でしたが、福祉避難所への変更により、通常の避難所として使用できなくなります。地域の方には、近隣の避難所に避難していただくこととなりますので、避難先の確認をお願いします。

自然と共に夏を楽しもう！ 夏のおすすすめイベント

江別野菜満喫バスツアー

8/21(金)
10:00-15:30

市内の直売所での買い物や、生でも食べられるスイートコーン収穫体験、農家のかあさん直伝「江別野菜たっぷりカレー」など、新鮮な地場産野菜を楽しめます。野菜のお土産つき。

定員：20名

料金：1,500円

申込：8月7日(金)～12日(水)に農業振興課へ電話申込。応募者多数の場合は抽選(8月14日(金)頃、郵送で通知)。

【詳細・申込】 農業振興課農畜産係

☎ 381-1025



川で自然を満喫しよう！川遊び！

8/23(日)
8:00-14:30

網を使って川の生き物を捕まえたり、ゴムボートなどに乗って川の流れを体感します。雨天決行。

会場：恵庭市漁川

対象・定員：小学生とその保護者、先着20組(親子で参加)

持ち物：着替え、濡れてもいい靴、タオル、濡れた物を入れるビニール袋、昼食、飲み物、おやつ。

料金：500円

申込：8月10日(月)までに料金を添えて生涯学習課青少年係へ申込。

【詳細・申込】 生涯学習課青少年係

☎ 381-1069

えべつ農業まつり

8/29(土)
10:00-16:00

地元産の農畜産物が一堂に集め、販売などを行う恒例の「えべつ農業まつり」。飲食コーナーやステージイベントなど、ご家族で楽しめます。各種農畜産物展示・販売(野菜、生花、乳製品、えぞ但馬牛など)、飲食コーナーなど。雨天決行。ただし天候によって時間を変更する場合あり。

会場：市役所特設会場

自家用車でご来場の方は、市役所駐車場をご利用ください。

【詳細】 JA道央江別営農センター

営農振興課 ☎ 382-4114

えべつプレミアム商品券 2次販売を行います！

販売日時、会場などの詳細は広報えべつ今月号折り込みの「プレミアム商品券2次販売」チラシをご覧ください。

【詳細】 江別商工会議所 ☎ 382-3121

2015

直売所スタンプラリー

直売所を巡って豪華景品をGET!

生産者と消費者の顔の見える関係を大切に、江別の農産物を身近に感じてもらうため、市内9つの直売所をラリーポイントに設定し、スタンプラリーを開催！完走賞、中間賞など豪華景品を用意しています。

ラリーガイドの配布場所

- ・参加直売所
- ・農業振興課(高砂町6 市役所第二別館)
- ・「えべつアイ」ホームページからダウンロードできます。

えべつアイ 直売所スタンプラリー

検索

地域密着型サービス事業者の募集

市では、江別市高齢者総合計画に基づき、平成29年度までの間に地域密着型サービスの整備を計画的に進めることから、サービス事業者を募集します。募集に係る要項・申込様式などの詳細については、市ホームページをご覧ください。

【詳細】 介護保険課

☎ 381-1067

平成28年度開設予定

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護(地域密着型特別養護老人ホーム) 定員29名1施設

平成29年度開設予定

認知症対応型共同生活介護(グループホーム) 2ユニット定員18名1施設

平成27年8月から

介護保険制度が改正されます

負担割合証が発行されます

要支援、要介護の認定を受けた方に、利用者負担の割合(1割または2割)が記載された負担割合証が発行されます。一定以上の所得(本人の合計所得金額が160万円以上、かつ年金収入とその他の合計所得金額が単身世帯で280万円以上、2人以上世帯で346万円以上)の方は利用者負担が1割から2割に変わります。

金などが追加されます。

次の①または②に該当する方は介護施設サービス利用者の食費・居住費の軽減対象外となります。

- ①世帯分離をしている配偶者が課税されている場合
- ②預貯金などが一定額(単身一千万円、夫婦二千万円)を超える場合

高額介護サービス費に新たな利用者負担段階区分が追加

高額介護サービス費の利用者負担段階区分に、上限額を4万4400円とする現役並み所得者が追加されました。

【詳細】 介護保険課

☎ 381-1067

低所得の施設利用者の食費・居住費の軽減要件に預貯

施設利用時の食費・居住費の軽減要件が変更されます

野幌駅南側のまちづくり

まちづくり政策

江別の顔づくり事業では、野幌駅を中心とした南北市街地を円滑に結ぶ道路網を整備しています。

駅南側においては、今後も道路網整備を行うほか、駅前広場整備の着手に向けて事業を進めていく予定です。

〔詳細〕 都心整備課 ☎ 381-1082

野幌駅南口広場完成予想（イメージ）

南口広場の整備

南口広場（図中①）は、交通機関の乗り換え・乗り継ぎの利便性向上のため、平成30年度の完成を目指して、来年度から整備に着手する予定です。

広場には自家用車の乗降場が整備され、バスの乗り入れが可能になるほか、歩道の一部にはロードヒーティングを敷設します。

道路網を整備 アクセスを容易に

昨年度、中原通と南大通が開通し、周辺市街地からのアクセスがしやすくなりました。

今年度は、

8丁目通の若葉通から野幌駅南通までの区間（図中②）の工事を行います。また、旭通の鉄東線から野幌駅南通までの区間（図中③）の測量や調査を行います。



昨年度開通した南大通

駅環状道路（図中破線）の一部となる、これらの道路網整備を進めることで、駅周辺に集中する交通の円滑化を図ります。

野幌駅南通を整備 通過交通を分散

鉄東線に集中する通過交通を分散し、住宅地の生活道路を通る車の交通量を抑制するため、鉄東線と白樺通を結ぶ野幌駅南通（図中④・⑤）を整備します。

今年度は、1号線から白樺通までの区間（図中④）の工事を行います。また、鉄東線から1号線までの区間（図中⑤）については、今年度から測量や調査を進め、平成31年度に完成する予定です。

野幌駅南側整備計画図



新栄団地B棟 11月完成

老朽化のため、A棟に続いて建て替えが進められている「新栄団地B棟」が、今年11月に完成します。

新しい新栄団地は、太陽光発電を導入（電気は共用部に使用）し、二酸化炭素の排出量の削減や災害時の電力確保など、環境や災害対応に配慮した設計となっています。

完成後には、現在新栄団地にお住まいの方々が転居することになります。空き室が出た場合には、新規入居者の募集を行います。申し込み条件など詳細については広報えべつ10月号に掲載する予定です。

〔詳細〕 建築住宅課 ☎ 381-1041



市内唯一の小規模特認校

小規模特認校とは？

小規模を活かしたきめ細かな指導が特徴で、江別市では雄大な自然環境を生かした伝統的な校風を持つ同校のみが指定されています（※特別支援学校ではありません）。

通学方法は？

通常の通学区域に関わらず、市内どこからでも通うことができます。

基本的にはバスなどの公共交通機関を利用して、自力で通学します。

〔詳細〕野幌小学校 ☎ 382-2151

学校教育課 ☎ 381-1058

児童募集 江別市立野幌小学校

1. 豊かな体験

道立自然公園野幌森林公園の自然を体感しつつ学ぶ「林内活動」や「土器の野焼き体験」、「田植え体験」などを通して、自ら学び調べる姿勢を育て、子ども一人ひとりの良さを引き出します。

田植え体験



土器の野焼き体験



2. きめ細かな指導



夏休み学習広場

1クラス16人程度の小規模校の特徴を活かし、目が行き届ききめ細かな指導が実現。行事などの際には、一人ひとりに責任ある役割が当たります。

夏休みや冬休みには、勉強を教えあう「学習広場」で、苦手を克服します。

3. 心を育む異学年交流



全校児童と一緒に食べる全校給食の日

各学年混合の縦割り班での清掃や全校規模の「集団遊び」を行い、全校児童が一堂に会して給食をとる日もあります。愛林少年団を中心とする異学年交流を行う中で、上級生は下級生を優しく世話して、下級生はその姿を学び、コミュニケーション力や集団行動が身に付きます。

また、通学のバスでは、上級生が自主的にバス当番となって模範的な行動を示すため、公共の場での振る舞いを学べるとともに、自立心が育っています。



野幌小学校入学児童募集

募集人数／平成28年度入学予定の新一年生16名程度とその他の学年で若干名。
入学条件／小規模特認校での就学および通常学級での学習や活動ができる心身の状態であること。登下校時の安全の確保など、保護者の責任のもと通学できること（設定している通学区域を越えての通学のため）。

〔詳細〕野幌小学校 ☎ 382-2151、または学校教育課 ☎ 381-1058へ

● 説明会

日時／8月28日(金) 14時から 会場／野幌小学校(西野幌252)



〔詳細〕市教育委員会総務課 教育政策担当 ☎ 381-1057
皆さんには、児童の安全確保のため、ご理解、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。変更について、ご意見などがありましたら、8月21日(金)までにご連絡願ひます。

平成28年4月の江別第一小学校開校に伴い、交通量の多い国道12号を児童が横断する際の安全対策について関係機関との協議を重ねています。その結果、ネッツトヨタ前に2つある地下歩道入口のうち、児童が国道12号を横断する際に視界の妨げとなる1つの入口の撤去を関係機関に要望しています。

江別第一小通学路 地下歩道入口の撤去



8月10日は「道の日」です。

道路愛護にご協力ください

- 道路上に陥没などの危険箇所や落ちていた物を発見したときは、土木事務所へ連絡してください。
 - 樹木の枝葉が道路にはみ出さないよう土地を所有する方は、枝葉を剪定するなど心掛けましょう。
 - 電柱や街路樹などへの張り紙、広告板、看板、のぼりなどの設置はやめましょう。
- 【詳細】土木事務所道路管理課管理係
☎ 383-5900



夏場のゴミ減量対策

【詳細】廃棄物対策課減量推進係 ☎ 383-4211

- 水切りのコツ**
- ①生ごみを濡らさない。
 - ②野菜や果物の皮など、使わない部分は洗う前に取り除き、トレーに乗せ乾燥させる。
 - ③お茶や野菜くずなどは天日干しする。

生ごみは水切りと乾燥・堆肥化で減量

夏場の生ごみは、腐敗し易く臭の原因となります。家庭でしっかり水分を切ることで、ごみの減量や処理費用の軽減につながります。

また、生ごみ堆肥化容器などを利用するとごみの減量が図られるうえ、堆肥が家庭菜園にも役立ちます。



駐輪マナーを守りましょう！



自転車などは、歩道や駅舎の出入口などの通行に支障がないように駐輪しましょう。

また、長期間の放置は他の利用者の迷惑となるほか十分な駐輪スペースが確保できません。日ごろから長期にわたる駐輪をしないように心掛けてください。

放置自転車を撤去します！

8月中旬から下旬の予定で、長期にわたり駅の駐輪場に置かれたままの自転車などを撤去します

【詳細】土木事務所道路管理課管理係
☎ 383-5900

公園利用のマナーを守りましょう



●公園内での炭・まきの使用は禁止しています。バーベキューなどを行う際はカセットコンロや固形燃料を利用しましょう。

- 夜中に大声で話をしたり、花火をしたりなどの騒音となる遊びは、地域の方々の迷惑となりますのでやめましょう。
- 犬などのペットはきちんとつないで散歩し、ふんは持ち帰りましょう。
- 水飲み台やトイレの水を使つての洗車などはやめましょう。

【詳細】公園指定管理者草野作工㈱
☎ 398-3010

都市建設課公園係 ☎ 381-1045

集団資源回収を利用しましょう！

市では新聞紙や雑誌、段ボールなどの紙類は収集していませんので、地域の集団資源回収を利用しましょう。回収品目、回収日などは、各自治会、学校などが独自に決めていますので、詳細は各団体にお問い合わせください。

集団資源回収の出し方

新聞紙	チラシも一緒にして、ひもで十文字に縛る。
雑誌	大きさをそろえて、ひもで十文字に縛る。
段ボール	折りたたんで、ひもで十文字に縛る。
紙パック	水洗いし開いて乾かし、ひもで十文字に縛るか袋に入れる。
紙箱類	ビニールなどを取りはずして、ひもで十文字に縛る。
びん	キャップをはずし、水洗いして袋に入れる。
かん	アルミとスチールに分け、水洗いして袋に入れる。
金属類	金属以外の部品を全て取りはずす。
布類	白色の柔らかい木綿系の衣類、布とそれ以外の衣類に分けてポリ袋などに入れる。

生ごみ堆肥化容器

容器にもよりますが、約2〜3か月で堆肥ができます。

- ①段ボール式容器／屋内に設置でき、容器は約1600円と安価。
- ②密閉式容器／屋内外に設置でき、臭いや虫の心配が少

資源物の出し方に注意を

市が収集する資源物は表の通りです。水ですすぎ、ふたやラップなどは取り除き、分別して袋に入れましょう。リサイクルできない「資源物と紛らわしいごみ」もありますのでご注意ください。

種類

市が収集する「資源物」

資源物と紛らわしい「ごみ」

びん	飲料、栄養剤、飲み薬、化粧品などのびん。	油、農薬、マニキュアなどのびん、花びん、ガラス製の梅酒容器などは燃やせないごみへ。ふたは、金属製のものは燃やせないごみへ。プラスチック製のものは燃やせるごみへ。
缶	ジュース、酒、缶詰、ミルク缶など食品の缶。	塗料、ガソリン・灯油など食用以外の缶、食用油の缶、一斗缶などミルク缶より大きなものは燃やせないごみへ。ガスカセット缶、殺虫剤の缶、スプレー缶などは危険ごみへ。
ペットボトル	透明または半透明の容器で、飲料、しょう油、酢などのマークの表示のあるもの。	左記以外のプラスチック製などの容器は、薄く柔らかいものは燃やせるごみへ。厚いもの（厚さ0.5cm超）は燃やせないごみへ。ふたはペットボトルキャップ回収が、燃やせるごみへ。
白色トレイ	食肉、魚などの食品用白色トレイ。	色つき、透明、納豆の容器などは燃やせるごみへ。
紙パック	牛乳、ジュースなどの紙パックで、内側が白色のものを、水ですすぎ、開いて乾かしたものを。	内側が銀色の紙パックは燃やせるごみへ。

やすらぎ苑へのお墓参り

交通規制や臨時バスの運行

お盆期間中、市営墓地やすらぎ苑（対雁）では混雑が予想されることから、周辺地区の交通規制を行うほか、供物などの持ち帰りやにおいや煙の少ない線香の利用などのご協力をお願いしています。

なお、期間中、混雑緩和のため、臨時バスの運行も行いますのでご利用ください。

● 供物・ごみは持ち帰りましょう

例年、水のみ場付近に枯れた花などのごみが捨てられています。市では収集していませんので、ごみは必ずお持ち帰りください。

なお、盆菓子などは8月17日（月）・20日（木）に回収します。

● 線香にも配慮を

墓参客が集中するお盆には、線香のにおいが周辺の住宅街など広範囲に立ち込めます。においや煙の少ない線香も販売されていますので、周辺の住環境に配慮した線香の使用にご協力ください。

一方通行などの交通規制

8月12日（水）～16日（日）まで、やすらぎ苑周辺は一方通行や通行止めなどの交通規制を行

やすらぎ苑の合同墓
5月の使用開始から200体の利用がありました。受付は随時行っていますので、詳細は市民生活課へおたずねください。



います。

指定場所以外は駐車禁止となりますので標識や案内板に従ってください。

また、昼時は墓参客が集中して渋滞します。お墓参りの際は混雑する時間帯を避けるか、臨時バスをご利用ください。

なお、墓地周辺の道幅の狭い生活道路への立ち入りや駐車は、騒音などで周辺住民の迷惑となるほか、交通事故の原因にもなりますのでご遠慮ください。

20分おきに臨時バス

中央バスでは、8月13日（木）～16日（日）の4日間臨時バスを運行します。

● コース

江別駅↓江別郵便局↓第三小学校↓青年センター↓2番通3丁目↓3番通3丁目↓やすらぎ苑。

● 運賃

大人190円
子ども100円

● 運行時間

① 往路（江別駅発） 9時～15時まで20分おき。

② 復路（やすらぎ苑発） 9時20分～15時20分まで20分おき。

墓所使用者が亡くなられたら

承継手続を

市営墓地の使用の方が亡くなられた場合は、必ず使用権者を変更する承継手続を行ってください。

亡くなられた方が使用権者として登録されたままの場

お祭りやイベントなど

安全な催しの開催のために

多数の方が集まるお祭りやイベントなどの催しで、コンロ、グリドル（鉄板調理器具）、ストーブ、発電機などの火気器具を使用する露店を開設する場合は、「消火器の準備」と「消防署へ事前の届出」が必要です。

対象となる催しは、市民まつりや秋季例大祭をはじめ、大学祭や事業所での集客・販売イベントなどです。

ただし、近親者によるバーベキューや自治会の催しなど、集まる方が個人的なつながりで集まる場合は除かれます。

なお、対象外となった催しであっても安全のため、消火器や水バケツなどの準備をお

合、連絡がとれなくなって、長い年月の経過とともに最終的に無縁墓所となってしまう恐れがあります。

また、使用権者の方の住所などに変更があった場合も必ず変更手続をしてください。

市民生活課生活衛生係 ☎ 381-1094



すすめします。

届出が必要な催しかどうかなど、くわしくは消防署予防課か最寄りの消防署出張所にご相談ください。

市民生活課生活衛生係 ☎ 382-5430